



© NDC Graphics + NPO Check + Ohkawa Inc.

「困った方に、トイレを貸します」
 一。外出先で安心して買い物などを楽
 しめるよう、トイレ貸し出しのステッ
 カーを建物の入り口に貼り出す「OP
 EN Toilet Project
 (オープントイレプロジェクト)」
 が、横浜市の元町や中華街、山下町地
 区9店舗で先行スタートしている。来
 年3月末まで同地区で100店舗を目指
 すとともに、市内の他の地域にも広げ
 たい考えだ。

トイレ 困ったなら借りて

プロジェクトでは、トイレを借りること
 のできる店舗などが、建物の入り口に目印
 となるステッカー「オープントイレマー
 ク」＝写真＝を貼る。

高齢者や障害者らに優しい多機能トイレ
 の位置情報をインターネット上で提供する
 NPO法人「Check(チェック)」
 (東京都)と、印刷会社「大川印刷」(横
 浜市)が共同で実施。チェックの金子健二
 代表理事は「ネットだけでなく、皆が利用
 できるトイレ情報提供の仕組みを作りたか
 った」とプロジェクトを企画した理由を話
 す。

ステッカーには借りられるトイレの種類
 によって、通常の人の形のトイレマークの
 ほか、車椅子での利用や、おむつ替えので
 きるマークなどをプリント。また花のマー
 クのデザインも加えた。登山中に用を足す

NPOなど目印ステッカー普及目指す

ことを「花を摘みに行く」と表現すること
 から考案されたという。

ステッカーは1枚800円。売り上げの
 一部は、東日本大震災の被災地でのトイレ
 調査など、チェックの活動費などに充てら
 れる。

元町や中華街、山下町地区の希望店舗に
 は、年度内限定で無料提供される。トイレ
 の位置情報はチェックのネット上のサイト
 にも掲載される。

障害者の社会参加を進めるNPO法人
 「animi(アニミ)」(横浜市)の服
 部一弘理事長は、障害者の立場から事業を
 評価。「車椅子の人にとって、利用できる
 トイレを探すのは結構大変。ステッカーが
 外に貼ってあれば、どんな種類のトイレが
 借りられるかすぐに分かるので便利です
 ね」と話していた。